

第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の一部改訂について

1. 改訂の必要性

第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、3つの目指すべき将来の方向として、「定住・交流・関係人口の増加を図る」「若い世代の希望を実現する」「本市の特徴を生かして時代にあった地域をつくる」を定め、4つの基本目標として、「しごとづくり」「ひとの流れづくり」「結婚・出産・子育ての希望をかなえ、誰もが活躍できる地域社会づくり」「安全で快適に暮らせるまちづくり」を掲げ、地方創生に係る施策を推進することとしています。

しかしながら、令和2年1月からみられた新型コロナウイルスの感染拡大は、本市においても例外なく地域経済や市民生活に甚大な影響を与えており、医療・介護従事者をはじめとした、生活を支える基礎的なサービスを提供する人材不足も再認識することとなりました。また、これまで当たり前であった行動様式・生活様式・価値観を根本から見直す必要性も指摘されています。

国が策定・公表した「まち・ひと・しごと創生基本方針2020（令和2年7月17日閣議決定）」においても、「まずは、感染症の拡大を防止し、早期に収束させ、地域住民の命を守ると同時に、雇用の維持と事業の継続を確保し、人々の暮らしを支え、守り切らねばならない。また、地域経済を早期に立て直し、さらには、危機に強い地域経済の構築を図り、感染症の克服と経済活性化の視点を入れつつ、感染症を乗り越えた後に、時代の変化を捉えた新しい地方創生の実現に向けた取組を加速化していくことが必要である。」としています。

以上を踏まえ、時代の大きな変化に対応するための施策の検討を通じて、地域経済の復興と、より強固な地方創生の実現に向け、第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略を改訂する必要があると認識しています。

2. 改訂の方向性

「まち・ひと・しごと創生基本方針2020」においては、「2019」と比較し、新型コロナウイルス感染症の影響によって、①雇用の維持と継続、②強靱かつ自律的な地域経済の構築、③リモートワーク推進等による移住等の推進について、多くのページを割いています。これらの点を踏まえつつ、内閣府が発表した「地域未来構想20（新しい生活様式を踏まえて地域経済の活性化等）」（次ページ以降参照）を基に、第2期豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載の施策を見直すものとします。

3. 今後のスケジュール

計画の見直し（案）については、令和3年1月頃を目途に、その内容を取りまとめ、年度内に公表していく予定としますが、

- ①現時点において、新型コロナウイルスは、例えば飛沫感染だけでなく、空気感染の可能性が示唆されている等、いまだその全貌は明らかになっていないとともに、有効な薬剤等の開発もその見通しが不確実になっており、いったん示されている「新たな生活様式」の早期の変更もありうること
- ②令和2年12月に、国のまち・ひとしごと創生総合戦略の改訂が予定されており、その改訂を反映させる必要があること

以上の2点の理由から、改訂の時期については、今後の動向を注視しながら、柔軟に対応していくものとします。

【地域未来構想 20】

(a) 社会的な環境の整備

①	3密対策	3密対策を実施したより快適な空間の創造
②	発熱外来	発熱外来ネットワークを整えるためのハード・ソフト両面からの投資
③	キャッシュレス	キャッシュレス決済の普及推進及びデータの利活用
④	行政IT化	行政手続の徹底したオンライン化・電子処理化及びネット発信の強化
⑤	防災IT化	感染症等に対応した新たな災害対応スタイルの構築
⑥	脱炭素社会への移行	地域の再エネ/分散型電源の活用による脱炭素化と強靱じん化
⑦	スーパーシティ	大胆な規制改革を伴う「コロナ対応型スーパーシティ」の前倒し実現
⑧	地域経済の可視化	RESASで地域経済を「見える化」、データに基づく施策立案を促進

(b) 新たな暮らしのスタイルの確立

⑨	教育	GIGA スクール構想の更なる加速・強化等による新たな時代に相応しい教育の実現
⑩	医療	オンライン診療・オンライン服薬指導を行うための支援
⑪	地域交通体系	MaaS などを取り込んだ新たな地域交通体系の整備
⑫	文化芸術・スポーツ・コンテンツビジネス	地域の文化芸術・スポーツ・コンテンツビジネス等の創造発信
⑬	リビングシフト	都市と地域の両方の良さを活かして働く・楽しむスタイルの開拓
⑭	ハートフル	ひとり親家庭、単身高齢者等への新しいつながりの創出

(c) 新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進

⑮	強い農林水産	強い農林水産業及び食料産業の実現に向けた新たな投資促進・労働力確保
⑯	地域商社、観光地域づくり法人（DMO）	地域商社、観光地域づくり法人（DMO）、ローカルベンチャー等を通じ、ソーシャルデザインの力も活かした、地域経済力の強化
⑰	物流の進化	新技術を活用した地域内物流の効率化など物流基盤の整備
⑱	新たな旅行	「新しい旅行スタイル」実現のため、宿泊、飲食、運送等のトータルな環境整備や新たなビジネス展開の促進
⑲	商品券・旅行券	3密対策や新たな商品と連動した誘導型の商品券・旅行券の発行
⑳	事業構造改革	地域牽けん引企業群の形成・事業再生等を通じた事業構造改革の徹底推進